

アットホーム

空き家バンク通信

2017年10月から国土交通省のモデル事業として運用を開始しております「アットホーム 空き家バンク」に参画いただいている自治体の皆さまに、空き家バンクの有効活用に向けた情報として当通信をお届けしています。

Vol.

12

アットホームは、空き家バンクを通じて自治体さまを応援しています。

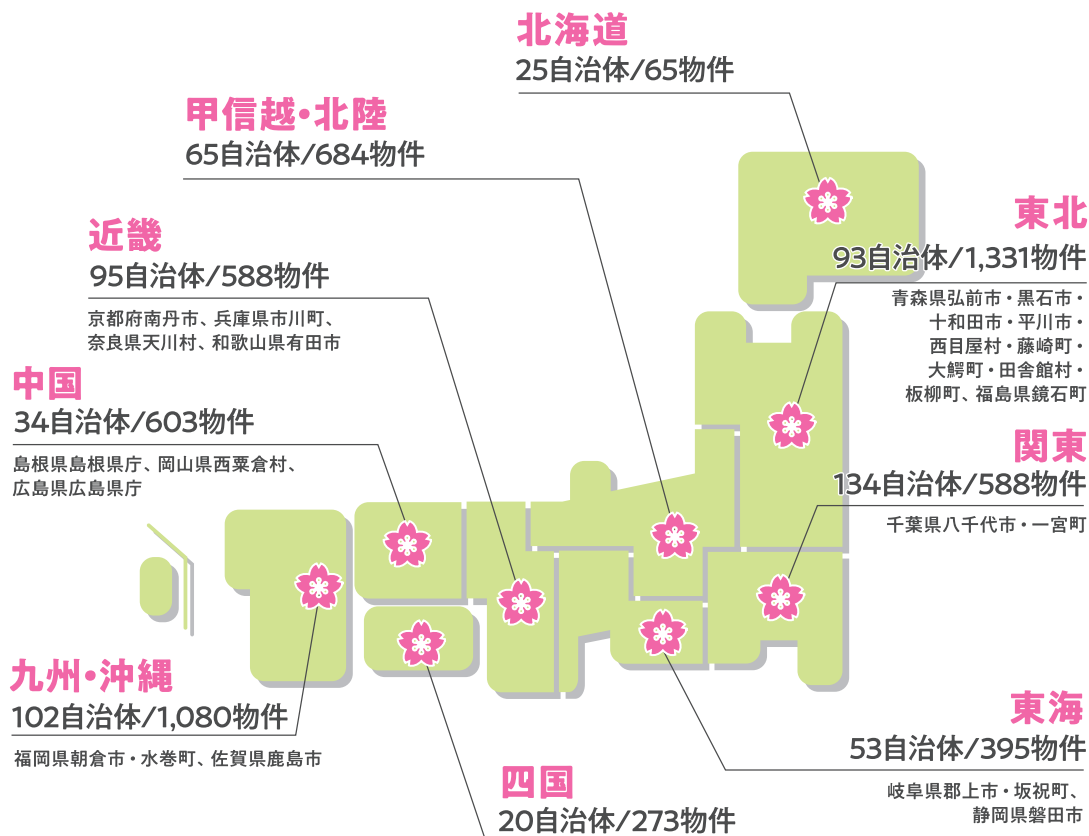
2022年4月発行

【アットホーム 空き家バンクご利用状況】

2022年2月28日(月)時点

参画自治体：621 掲載物件：5,607 成約実績：6,624

※サイト開設より成約処理された合計数



売買関連の掲載 (4,552)

空き家：2,959/土地：1,533

マンション：4/事業用：56

賃貸関連の掲載 (1,055)

空き家など：611/事業用：444

【担当者からコメント】

アットホーム地域共創プロジェクトの田中です。本号では、1月17日(月)に開催した山梨県・岐阜県・佐賀県の3自治体さまとの意見交換会の様子を掲載しています。



※2021年11月～2022年1月に新規ご参画いただいた自治体さまは上記に自治体名を記載しています。

1 お知らせ(自治体さまの情報発信コンテンツ)

コンテンツ紹介① 地域イベントの情報

「アットホーム 空き家バンク」では、昨年より新たなコンテンツとして「**地域イベントの情報**」を開発いたしました。本コンテンツはトップページに配置しており、地域で開催予定のイベントやセミナー情報をご紹介します。また、**Twitter(下記参照)**からも本コンテンツに関する情報を発信していますので、ぜひご利用ください。詳細は下記「アットホーム 空き家バンク」相談窓口までご連絡ください。



▲アットホーム 空き家バンク



▲地域イベントの情報ページ



▲自治体さまの空き家セミナー・相談会ページ

コンテンツ紹介② 地域おこし協力隊の情報

本コンテンツは、地域のために移住し、協力活動を行いながらその地域への定住・定着を図る制度である「**地域おこし協力隊**」に関する情報をご紹介します。また、**Twitter(下記参照)**からも本コンテンツに関する情報を発信していますので、ぜひご利用ください。詳細は、下記「アットホーム 空き家バンク」相談窓口までご連絡ください。



▲アットホーム 空き家バンク



▲地域おこし協力隊の情報ページ



▲自治体さまの地域おこし協力隊情報ページ

Mail 「アットホーム 空き家バンク」相談窓口
Mail : akiya_soudan@athome.co.jp

SNS アットホーム 空き家バンク公式Twitter
アカウント:@akiya_athome_co

令和3年度国土交通省「住宅市場を活用した空き家対策モデル事業」採択事業

自治体さま向け「空き家対策関連動画」のコンテンツ提供開始(2022年2月～) 

当社は令和3年度国土交通省住宅局【住宅市場を活用した空き家対策モデル事業】において、2021年7月「住宅市場を活用した空き家に係る課題解決を行う事業」の事業者に採択され、自治体支援企画として、空き家対策担当者さま向けに「**空き家対策関連動画**」コンテンツの提供を開始いたしました。空き家の現状と課題解決に向けて、「**空き家の基礎知識**」の習得や「**アットホーム 空き家バンクの紹介**」、「**アットホーム 空き家バンク操作マニュアル<ダイジェスト版>**」などを動画にて紹介しております。



▲アットホーム 空き家バンク



▲自治体向け情報ページ



▲動画コンテンツページ

自治体の空き家対策担当者さま向けに「**空き家に関する情報**」や「**アットホーム 空き家バンク**」を有効活用するための動画を公開しています!

● 空き家対策関連動画 URL ▶ <https://www.akiya-at-home.jp/contents/113>



- 空き家問題の現状
- 空家等対策特別措置法の概要および自治体の役割
- 空き家の利活用 など



- アットホーム 空き家バンクとは?
- アットホーム 空き家バンクの特徴
- 掲載ルールおよび対象物件 など



- 物件管理編
- 自治体専用ページ編



兵庫県川西市との実証実験で共同開発!!

空き家調査アプリ 空き家しらべーたー

確認時間
99%減

検索時間
86%減

満足度
88%

調査費用
大幅減

※ 兵庫県川西市との実証実験によって検証した効果



文字・写真
・位置情報
を誰でも簡単に
調査報告!

月額
2.5万円～
(税抜)

お問合せ先: 株式会社ユニフィニティー
03-4405-3482 | marketing@unifinity.co.jp

2 アットホーム 空き家バンク ランキング!!

アットホーム空き家バンク通信ではさまざまなランキングをご紹介します。本号では都道府県別の参画自治体数や、自治体別の掲載物件数のランキングをご紹介します!

都道府県別 参画率 TOP10

順位	都道府県	参画数/全自治体数	参画率	順位	都道府県	参画数/全自治体数	参画率
1	富山県	14/16	87.5%	4位	福井県	12/18	66.7%
2	栃木県	21/26	80.8%	4位	兵庫県	28/42	66.7%
3	大分県	13/19	68.4%	4位	佐賀県	14/21	66.7%
				7位	滋賀県	12/20	60.0%
				8位	青森県	23/41	56.1%
				9位	長崎県	12/22	54.5%
				10位	秋田県	14/26	53.8%

※参画自治体に都道府県を含む

自治体別掲載物件数 TOP10

順位	自治体名	掲載物件数(件数)	順位	自治体名	掲載物件数(件数)
1	陸前高田市 (岩手県)	543	4位	矢掛町(岡山県)	101
2	萩市 (山口県)	136	5位	南相馬市(福島県)	98
3	栃木市 (栃木県)	119	6位	豊後高田市(大分県)	96
			7位	えびの市(宮崎県)	82
			8位	笠岡市(岡山県)	79
			8位	白杵市(大分県)	79
			10位	いわき市(福島県)	70

不動産情報ネットワーク

at home



Where's Waldo?/Where's Wally? ©DWA Dist, Ltd.
※画面はイメージです。



物件情報を公開するなら、アットホームへ

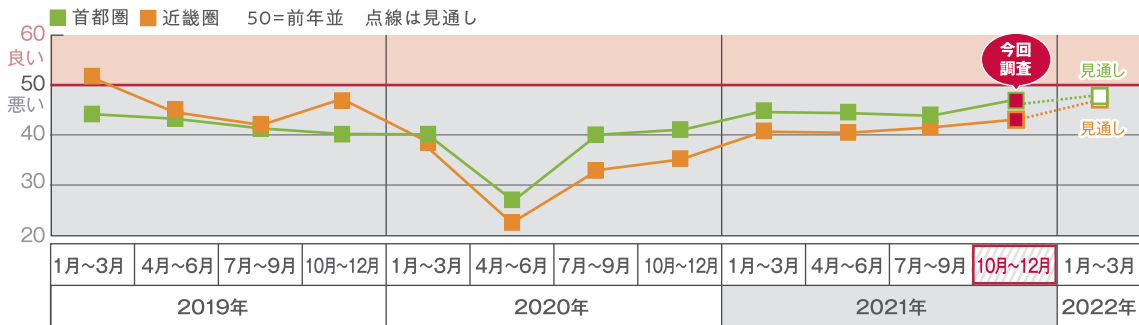
3 市況データ ※アットホーム調べ

🌸 地場の不動産会社における景況感を伺いました (2021年10~12月期) 🌸


本調査で用いている数値は、地場の不動産会社さまに対する、自社の「業況(*注)」に関するアンケートにおいて、前年同期と比較して「良かった(100)」「やや良かった(75)」「前年並み(50)」「やや悪かった(25)」「悪かった(0)」でご回答いただいたものの平均です。


※50を境にそれ以上なら「良い」、それ以下なら「悪い」を意味しています。*注 業況:各業種別、企業規模別などに判断する、ある時期の景気の状況。

売買仲介の景況感 首都圏・近畿圏ともに、緩やかな上昇傾向が継続。



「不動産会社さまの声(抜粋)」

首都圏	近畿圏
<p>住宅ローン減税見直しの影響があるとみられる (埼玉県桶川市)</p> <p>売買物件はどんな種目も物件がない。よほど問題がない限りすぐ決まるので、物件不足に悩まされている (千葉県流山市)</p>	<p>コロナが落ち着き、以前から購入を検討していた顧客が動いた (京都府木津川市)</p> 

<p>調査概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象/北海道、宮城県、首都圏(1都3県)、静岡県、愛知県、近畿圏(2府1県)、広島県、福岡県の13都道府県のアットホーム全国不動産情報ネットワーク加盟店のうち、都道府県知事免許を持ち5年を超えて仲介業に携わっている不動産店の経営者層 ○有効回答数/1,980店 	<p>本調査結果およびバックナンバーは下記より</p> <p>当社サイト (https://athome-inc.jp/) の調査データ「市場動向」からご覧いただけます。</p> 
---	---

4 アットホームの公的不動産(PRE)サイトのご紹介

公的不動産も専用サイトに無料公開できます

「アットホーム 空き家バンク」内に公的不動産(PRE)物件を検索できるコンテンツを設けています。手間をかけずに無料で物件情報を公開できますので、ぜひご利用ください。

対象物件 売買・賃貸借の対象となる全ての不動産 ※利用目的の廃校なども対象に含みます。

\\ 物件情報の登録・メンテナンスは当社が代行します /

詳細情報は自治体さまのホームページにリンクします

▲アットホーム 空き家バンク

▲公的不動産(PRE)トップページ

▲公的不動産(PRE)物件検索結果一覧

5 管財・公売部署の皆さまへ 情報紙広告のご案内

市有地などの売払い物件・不動産公売物件などの情報を不動産会社(当社加盟店)さまに周知できます

当社では、1998年(平成10年)に東京国税局さまから「不動産公売物件情報の公開業務」を受託したことを皮切りに、数多くの自治体さまなどにもご利用いただいております。

特徴1 情報紙配布により地域の不動産会社さまへ訴求

- ① 貴庁お取扱物件の図面(情報紙)を作成し、一般の不動産物件情報とともに当社ネットワーク加盟の不動産会社さまにお届けします。
- ② 全国主要都市など、エリアを拡げてのお届けも可能です。



▲情報紙イメージ

右記のエリアマップよりお届けエリアを選択できます
より効果的なお届け先をご提案させていただきます。



特徴2 Webサイト(官公庁物件情報サイト)によりエンドユーザーへ周知

- 不動産会社さまのみならずエンドユーザーへ幅広く周知できます。



不動産情報サイトアットホーム
<https://www.athome.co.jp/>



Where's Waldo?/Where's Wally? ©DreamWorks Distribution Limited, All rights reserved.

アットホーム 官公庁物件情報
<https://kankocho-athome.jp/>



ご利用自治体さまの声

不動産会社さまへ効果的に周知することで入札への期待度が上がった。

問合せが増えたため、広告効果を感じた。



不動産ポータルサイトに掲載することで、多くの人々へ広く周知できるようになった。

Webアクセス数集計により開札終了後の検証がしやすくなった。

ご利用自治体さま(一部抜粋)

札幌市、仙台市、飯能市、熊谷市、千葉市、袖ケ浦市、三浦市、秦野市、新潟県、静岡市、名古屋市、大津市、尼崎市、西宮市、福岡県 など

※上記以外にご利用されている官公庁さいたま、千葉、静岡地方裁判所、全国11国税局、1国税事務所 など

お問合せ先 ●カスタマーセンター ナビダイヤル Tel.0570-01-1967 または Tel.045-330-3410 ●Mail : pre@athome.co.jp

Real Estate Circulate and Trend Magazine

不動産流通

不動産市場の動向
ビジネストレンドが
この一冊で!!

不動産業界
唯一の
専門月刊誌



毎月5日発行・B5判

年間購読料

10,266円 税・送料込

定価

943円 税・送料込

購読のお申込み・お問合せは

<https://shop.re-port.net/>
Tel.03-3580-0791

発行：株式会社不動産流通研究所
編集協力：国土交通省 不動産・建設経済局 不動産業課、
住宅局 住宅総合整備課

6 ワンポイントアドバイス

インターネットでの情報発信とSEO対策*について

エンドユーザーは、インターネットで情報を検索する場合、GoogleやYahoo! JAPANなどの検索サイトが提供する「検索エンジン」を使用するのが一般的であり、「アットホーム 空き家バンク」も70%以上が検索エンジンから検索されています。

インターネットで情報を発信する場合は、ホームページが検索エンジンの「検索結果」の上位に表示されることが重要になりますが、そのためには、エンドユーザーの検索する情報や関連キーワードで検索されやすくする必要があります。この、検索結果で上位表示されやすくするため、ホームページを作成したりメンテナンスを行うことを「SEO対策*」と言います。

*SEOとは、Search Engine Optimizationの略で「検索エンジン最適化」のことを意味します。



アットホーム 空き家バンクは、Googleの【空き家バンク】検索で1位に表示されます(2022年2月現在)。

「アットホーム 空き家バンク」の「自治体専用ページ」は、SEOを考慮したホームページ構成が組み込まれているため、自治体さま独自の「空き家バンクページ」をお持ちでない場合は、この「自治体専用ページ」を公式ページとしてご利用いただくことが可能です。また、自治体専用ページを介して、エンドユーザーを自治体さまの公式ホームページに誘引する効果もございます。



この他にも、自治体さま独自の「空き家バンクページ」は、「地域名」+「キーワード」などの検索時に上位表示されやすいため、物件登録時には物件名に積極的に自治体名を入れたり、物件詳細に「駅名」や「〇〇地域」などの場所を示す名称を入れることもSEO対策として効果的です。

7 自治体さまとの意見交換会

山梨県、岐阜県、佐賀県の3自治体と「空き家対策に関する意見交換会」を開催

概要

2021年から開催した自治体さまによる「空き家対策に関する意見交換会」ですが、今号では、山梨県韮崎市、岐阜県飛騨市、佐賀県神埼市の3自治体さまと開催した意見交換会について、一部内容をご紹介します。



★「空き家対策に関する意見交換会」について（Zoom開催）

空き家課題や空き家バンク運営などの取組みに対して、「他の自治体の活動を知りたい」「意見交換ができる場があると良い」との自治体さまからの声により、当社が空き家バンク参画自治体さまのハブになって開催。テーマごとに各自治体さまの取組み内容や課題についてご紹介いただき、情報共有を図っていただいています。

【テーマ1】空き家の探索、所有者へのアプローチ方法について

一つ目のテーマでは、空き家の探索や空き家バンクへの登録促進のために、どのような方法で空き家を探索しているかなど、その周知方法についてご紹介いただきました。

自治体さまからは、「毎年、地区内の空き家マップ情報を自治会長に渡して情報を更新してもらっている」といった掘り起こし方法や、地元の不動産会社さまとの良好な協力体制の現状や課題などをご紹介いただきました。

【テーマ2】空き家バンクへ登録する賃貸物件が少ない点について

二つ目のテーマでは、空き家バンクに登録される賃貸物件について、借りたいというニーズはあるものの、登録する賃貸物件が少ないことについて、その取組みや課題点などをご紹介いただきました。

各自治体さまからは、「賃貸物件のみ補助制度を設けている」、「購入のハードルが下がるよう補助制度を策定することで、できるだけ購入を促す」など、それぞれの現状をご紹介いただきました。

【テーマ3】状態の悪い物件が登録される、決まらずに掲載が続いてしまう点について

三つ目のテーマでは、状態が悪い物件が掲載され、そのまま決まらずに残ってしまうような物件への対応などについてご紹介いただきました。

各自治体さまからは、「見栄えがよくなるように物件を撮影し、問合せ時にはフォローして対応している」、「不動産会社さまより所有者への価格の見直し提案をしていただいている」などといった取組みを共有していただきました。

今回ご参加いただいた3自治体さまに感想を伺ったところ、「参加自治体の状況を把握する良いきっかけになった」（韮崎市さま）、「規模が類似している自治体と話す機会となってよかった」（飛騨市さま）、「他自治体の具体的な取組み内容を知ることができて参考になった」（神崎市さま）といったご意見をいただいております。意見交換会は、今後も開催予定ですので、参加のご要望などがあればお気軽にご相談ください。

詳しい内容につきましては、お気軽にお問い合わせください。

「アットホーム 空き家バンク」相談窓口 